

江東区議会議員

鬼頭 たつや



10月11日 豊洲市場開場 魅力ある市場へ！

### これからの豊洲市場

## 千客万来施設事業用地での賑わい創出事業

(千客万来施設事業に円滑に移行するため賑わい創出事業を実施する)  
◎豊洲市場及び周辺エリアの賑わいづくりと豊洲ブランドの確立

#### 事業スケジュール

### ① 5街区賑わい創出

(平成31年1月～3月)  
・毎週土曜日、キッチンカー等により市場の食材を活用した国内外の料理を提供

### ② 6街区賑わい創出

(平成31年4月～平成32年9月)  
・都や民間事業者のイベントなどを多様な形で幅広く開催

#### 賑わい創出事業実施

### ③ 5街区仮施設(場外マルシェ)

(平成32年1月以降～)  
・豊洲市場を訪れる国内外の観光客や地域住民が市場の食材に身近に接することができる様々な飲食店や物販店など多様な店舗を配置した「場外マルシェ」を設置

### 千客万来施設

(平成35年～)

#### 【商業ゾーン】

- 来場者数  
約138万人(年間)
- 店舗数  
約170店舗



## インフォメーション

### <第4回定例会一般質問！>

11月より開催される第4回定例会で江東区議会民政クラブを代表して質問を行います。

皆様からの要望を着実に  
行政に訴えてまいります

街の御用聞きは、  
今日も区内を駆け巡ります

### <区政報告会を開催します>

例年実施している「区政報告会」を来年も開催いたします。

多くの皆様のご参加をお願いします。

<日時>

平成31年3月6日(水) 18:30～

<会場>

古石場文化センター・レクホール



## 平成30年 議会活動 ダイジェスト

第3回定例会

### 29年度決算委員会での質問

#### <産業経済費>

##### I 商店街振興に向けた取組みについて

**質問** これまでも厳しい状況が続く本区商店街の活性化を推進してきたが、本区の商店街の状況はどのようになっているのか。

**答弁** 平成10年度には67の商店街があったが、現在は53となっている。

**質問** 大幅に減少しているが、こうした状況を区はどのように認識しているのか。

**答弁** 大規模商業施設やコンビニ等のチェーン店の進出、インターネット販売の普及により減少している。また、商店街会員数や商店街役員の高齢化、更に後継者不足もある。

**質問** 大きな要因に後継者不足があるが、後継者不足に対する本区の取組み、そして具体的からどのような効果が上がっているのか。

**答弁** 区内中小事業者を対象に相談窓口を設置しており、きめ細やかな対応を図っている。

**※その他、使用店街活性化総合支援事業、魅力ある商店街創出事業の質問も行いました。**

#### <教育費>

##### I 不登校対策について

**質問** 様々な対応が図られているが、依然として憂慮される時代であるが、本区ける小・中学校の不登校対策はどのようになっているのか。

**答弁** 平成28年度では小学校で114名、中学校では307名で小・中とも増加している。

**質問** こうした増加傾向にある要因を区教委としてどのように捉えているのか。

**答弁** 不登校の児童・生徒や家庭が抱える問題が複雑化しており家庭との連携が十分取れず、学校復帰が困難化しているケースが増加している。

**質問** 不登校問題は一層複雑化・困難化しており、解決にはスクールソーシャルワーカーの活用が有効であり人員増を図るべきではないか。

**答弁** 現在教育分野の課題は不登校だけでなく、虐待やネグレクトなど多岐にわたっており、抱えるケースも多くなっていることから、今後の充実策を検討する。

**※その他、「こうとう学びスタンダード」の取組み、俳句教育の質問も行いました。**

#### <介護保険会計>

##### I 高齢者地域包括ケア計画について

**質問** 高齢者問題を語る上で「フレイル」という言葉を耳にする。介護サービスを抑制には介護予防に取り組むべきだが、そこでフレイル予防と介護予防に対する区の認識は。

**フレイル・日本語に訳すと「虚弱」であるが、そのままでは寝たきりの症状になる。**

**答弁** 国において高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施する体制づくりを検討しており、区としても動向を注視するとともに現在促進している介護予防を着実に実践する。

**質問** とかく高齢者は受動的で自分からSOSを発信することが出来ない方も多くいるので、日頃より人が繋がるシステムの構築を求めますが区はどのように考えているのか。

**答弁** 高齢者が住み慣れた地域で自立して暮らしていくためにも、関係機関のネットワークづくりなど、システム構築に向けた環境整備に取り組んでいる。

**※その他、介護予防の取組みの質問も行いました。**